

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	100	0	0							今後も継続して行う。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				該当児無し						該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				該当児無し						該当なし
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	90	10	0							必要に応じて行っている。頻度はもう少し多くても良いかもしれない。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100	0	0							申し送り書や口頭での引継ぎを行っているので継続する。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	60	20	30	土日祝祭日の研修は営業日のため参加しにくい。人員配置が満たせれば参加を促している。						人員配置が許せる場合はできるだけ参加を促す。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	100	0	0	短時間の利用のため交流する機会が無い。	30	7	13	50	・まだ体験していないのでわかりません。 ・無いのではないかと考えます。	短時間の利用のため今後も困難と考える。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	0	100	短時間での利用のため難しいが、秋祭りへの協賛は行っている。						秋祭りへの協賛を継続する。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100	0	0		98	2	0	0	分かりやすく説明してもらいました。	今後も丁寧に説明を行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100	0	0		98	0	0	2		今後も丁寧な説明を行っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	30	50	20	フィードバックや面談の中で助言等を実施している。	63	6	7	24	・毎回ペアトレだと思っています。 ・どこが該当するのか？これからかな？と思っています。	毎回のフィードバック時に助言が行えるよう職員の資質向上を図る。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100	0	0	療育後のフィードバックや面談にて共有している。	92	4	0	4	・都度都度、どういった活動かはお聞きしていますが、それがどう家庭や本人の学び、接し方につながるかはこれからかな？という状況とと思っています。 ・たくさんフィードバックしてくれるので、成長や課題がわかりやすいです。	活動だけでなく生活につながるポイントまで助言を行えるよう、職員の資質向上を図る。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	80	20	0		91	5	0	4		フィードバック時や面談時など、保護者の言葉を拾い上げサポートが行えるよう気づきを養う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	10	30	70		19	12	19	50	・現在、連携の希望無し。 ・の放デイで保護者がいがあり情報交換が出来て助かっているため、でこボンでもあったら嬉しいですね。	保護者会は必要だと感じているので前向きに考えたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100	0	0		62	5	0	33	・特に苦情はない。 ・苦情が無いのでわかりません。 ・満足しているため苦情を入れたことがなく、わかりません。 ・本人が活動中に泣いたり辛い思いをしたときに、電話をくださったたり、翌活動日の活動内容に配慮いただいたりしていただけることはとてもありがたいです。本人も安心できていると思います。	今後も、児や保護者に対して丁寧に関わり真摯に接する姿勢を崩さず支援していく
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100	0	0	必要に応じてオンライン、SNS等も利用。	94	3	0	3		必要に応じて対応。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	100	0	0		89	4	0	7		でこぽん新聞の発行を継続して行う。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	100	0	0		94	0	0	6		今後も徹底して取り扱いに注意する。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	100	0	0	待合にマニュアルを置き閲覧自由にしてしている。 入職時にマニュアルの伝達を必須としている。	87	5	0	8	気にしたことが無いのでわかりません。	マニュアルの内容更新時にはアナウンスをし、周知をする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100	0	0	定期的に避難訓練を実施。	67	3	3	27	訓練のイベントがあったら面白いと思いました。	全員に対する訓練は困難であるため、一部の児を対象にした訓練は行っている。今後も継続して行っていく。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	80	20	0	服薬やてんかん等については契約時に把握しその後も定期的に面談等で確認している。	89	10	0	1		契約時、その後は定期的に変更はないか確認を継続する。
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	20	40	40	食事の提供を行っていないが、契約時にアレルギー情報は確認し把握している。						契約時に把握し、食の活動時にはあらためて確認を行う。
	5 安全管理の徹底	100	0	0		90	5	0	5		引き続き継続していく。
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	100	0	0	待合にマニュアルを置き閲覧自由にしてしている。	96	0	0	4		マニュアルの内容更新時にはアナウンスをし、周知をする。
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100	0	0	作成後は職員全員に伝達し共有している。						今後も作成と周知共有を徹底する。
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100	0	0	定期的に研修を行っている。						定期的に行う。
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	100	0	0	委員会を中心に必要な案件が出来て場合は対応している。						継続してケースバイケースで行っていく。